



【TOPICS】

- 2013 実践教育研究発表会 関東大会特集
 - ・2013 実践教育研究発表会開催校挨拶 1
 - ・大会概要と日程 2
 - ・特別講演 4
 - ・工業教育特別セッション 5
 - ・機械系／電気・電子・情報系／建築・デザイン系企画 6
 - ・開催地紹介／交通アクセス 11
- サイエンスワークショップ 14
- 若手のホープ 15

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

2013 実践教育研究発表会開催校挨拶

関東職業能力開発大学校
校長 太田 正廣



2013 実践教育研究発表会が本校にて開催されますことを心から歓迎します。

本校があります小山市は海のない栃木県にあり、東京駅から東北新幹線で約40分、新宿駅からは、直通のJR 湘南新宿ラインにて約1時間20分程の位置にあります。近くには多くの工業団地があり、製造業を中心として大企業から元気の良い中小企業が多数活躍しています。

ところで、日本は国内で消費される一次エネルギーの約4%しか自給できていません。この事実を、教育水準の高い方々においてでさえ、中々信じてもらえません。過つての日本の高度成長時代を支えてきた世代には、黒部第四発電所建設のイメージが焼きついているのか、一次エネルギーの代表格である水力発電で自給割合が高いはずだとの固定観念から抜け切れていないのは非常に残念です。東日本大震災が引き金となり、エネルギー問題を議論する機運が盛り上がったが、2年もたつとそろそろ熱が冷めてきたように感じます。実体は LNG を始めとして外国からの一次エネルギー輸入に頼っています。その輸入代金を賄うには、今のところ製造業が頼りです。国の生計維持根幹に関わる大事でかつ単純な実態を、われわれはまず理解すべきです。その製造業の現場を支えるには、ものづくり人材育成が重要であり、本校もその一翼を



関東職業能力開発大学校

担っていると自負しています。実践教育に携わる会員は互いに切磋琢磨してその人材育成に寄与すると共に、自分らの人材育成技術・成果を外に向かって発信することが大いに望まれており、実践教育研究発表会がその大事な機会であることを期待しています。

最後に、来る平成29年技能五輪全国大会・全国アビリンピックの招聘に、栃木県は知事以下一丸となって努力している最中です。どうぞご支援のほどお願いいたします。

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

大会概要

2013 実践教育研究発表会 関東大会

主 催 (社)実践教育訓練研究協会
 〒185-0021 東京都国分寺市南町2-18-36-203
 TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652 http://www.jissen.or.jp

後 援 厚生労働省
 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
 栃木県、小山市、小山商工会議所

会 期 8.22(木)～8.24(土) **会 場** 関東職業能力開発大学校
 〒323-0813 栃木県小山市横倉三竹612-1

大会テーマ
ものづくり・コトづくり・ひとづくり

一般講演
 機械系、電気・電子・情報系、建築・デザイン系、能力開発分科会

特別講演
 演題「モノづくり・コトづくり・ひとづくり」
 講師 花王 元会長 常盤 文克氏
 日時 8月22日(木) 13:30～15:00 会場 視覚教室

工業教育特別セッション
 日時 8月23日(金) 10:15～12:00 会場 視覚教室

ポスターセッション
 機械系、電気・電子・情報系、建築・デザイン系、能力開発分科会

企業展示
 日時 8月22日(木) 13:00～17:00
 8月23日(金) 9:00～17:00
 会場 応用課程教室1、2 応用短期課程教室2、3、4

全体交流会
 日時 8月23日(金) 18:30～20:30 会場 小山グランドホテル

じっせんくん

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

2013 実践教育研究発表会関東大会 日程

大会テーマ：ものづくり・コトづくり・ひとづくり

8月22日(木) 受付時間 11:30(本館 玄関)

機械系	電気・電子・情報系	建築・デザイン系	能力開発分科会	
オープニングセレモニー 新法人化記念 特別講演 「モノづくり・コトづくり・ヒトづくり」 講演者：花王(株)元会長 常盤文克氏 13:30 ~ 15:00 (視聴覚教室)				企業展示 13:00~ 17:00 (応用課程教室1, 2 応用短期課程教室2, 3, 4)
機械系一般講演 15:20~17:00	電気・電子・情報系 専門企画Ⅰ 15:30~17:00 (視聴覚室)	建築・デザイン系一般講演 15:20~16:40	能開系一般講演 15:20~17:00	

8月23日(金)

機械系一般講演 9:00~10:00	電気・電子・情報系一般講演 9:00~10:20	建築・デザイン系一般講演 9:00~10:00	企業展示 9:00 ~ 17:00 (応用課程教室1, 2 応用短期課程教室2, 3, 4)
工業教育特別セッション 10:15~12:00 (視聴覚教室)			
ポスターセッション 12:40~13:00 (応用課程教室1, 2 応用短期課程教室2, 3, 4)			
企業展示 13:00~14:00 (応用課程教室1, 2 応用短期課程教室2, 3, 4)			
機械系一般講演 14:20~16:40	電気・電子・情報系 専門企画Ⅱ 株高岳製作所 見学	建築デザイン系企画Ⅰ BIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)を学ぶ	
(社)実践教育訓練研究協会 総会 17:00~18:00 (視聴覚教室)			
全体交流会 18:30 ~ 20:30 (小山グランドホテル)			

8月24日(土)

生産系 卒業研究セッション 9:00~10:20 (視聴覚教室)	電気・電子・情報系一般講演 9:00~10:40	建築・デザイン系一般講演 9:00~11:20	能開系一般講演 9:00~10:00
機械系企画 10:40~12:00 (視聴覚教室)	電気・電子・情報系一般講演 10:40~12:00	建築デザイン系企画Ⅱ エクスカーション・重伝研・真壁地区復興復旧現場見学 12:00~15:30	能開系一般講演 10:20~11:20

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

特別講演

オープニングセレモニー特別企画

一般法人化記念 特別講演

「モノづくり・コトづくり・ヒトづくり」

講師： 常盤 文克 氏（花王元会長）

8月1日より(社)実践教育訓練研究協会是一般社団法人 実践教育訓練研究協会として新たな活動を始めました。この輝かしい第1回の記念大会にあたり、これまで日本のものづくりを牽引してまいりました花王元会長の常盤文克様より、新しい日本のモノづくり再興のために氏が提唱される「モノづくり」について、ご講演をいただきます。ものづくり教育に携わる私達にとり大変興味深いご講演であります。

日時 平成25年8月22日(木)
13:30 ~ 15:00

場所 関東職業能力開発大学校
視聴覚教室

講師略歴

- ・ 1957年東京理科大学理学部卒業。花王入社。
- ・ 米国スタンフォード大学留学後、大阪大学にて理学博士取得。
- ・ 研究所長、取締役、社長、会長を歴任。
- ・ 現在は三菱地所(株)社外取締役。
特定非営利法人日本モノづくり学会会長。
- ・ 主な著書に、「質の経営論」、「知と経営」(いずれもダイヤモンド社)、「知の経営を深める」(PHP 研究所)、「モノづくりのこころ」、「コトづくりのちから」、「ヒトづくりのおもみ」(いずれも日経BP社)、「新・日本的経営を探る」(JMAM)、その他多数。



常盤 文克 氏

講演要旨

モノづくりには、いつも心おどる夢があります。

今、日本のモノづくりは苦境にあり、新しいパラダイムへの転換が求められています。ところが、効率化やコスト削減を求めることばかりで、モノづくりという仕事に携わる誇りや喜びを失いつつあるように感じます。

いつの時代も、人はモノと重なりあって生きています。人はモノなしでは一日たりとも生きて行くことができません。ですから、人の暮らしがある限り、モノづくりは永遠に不滅です。いや、これからも成長・発展し、栄えていく仕事です。

今こそ日本人が歴史の中で培ってきた、よき伝統を掘り起こし、見つめ直して、時代の変化とともに生きて行く、新しい日本のモノづくりを再興する時だと思えます。必要なのは、大きな夢と目標であり、何よりも挑戦する力です。

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

2013実践研究発表会「工業教育特別セッション」

「地域における実践教育 - 教育の現状と課題 -」

- ◆ 日 時： 平成25年8月23日（金） AM10：15～12：00
- ◆ 会 場： 関東職業能力開発大学校 視聴覚教室
- ◆ 主 旨： 近隣施設の工業教育に携わる先生方に地域での特色ある教育活動報告を頂き、情報交換・相互研鑽を図ることを目的としております。基調講演後、6人の先生方に12分程度で発表して頂き、最後に討論により意見交換を行います。
- ◆ 基調講演： 地域における実践教育活動 伊藤昌樹 氏
- ◆ 発表者及び発表テーマ
- ①赤木潤子 氏（栃木県立宇都宮工業高等学校 電子情報科 教諭）
「本校における科学技術教育への取組について」
- ②石川広幸 氏（茨城県立産業技術短期大学校 指導課 情報処理科）
「短大校における職業教育について」
- ③江島信之 氏（茨城県立土浦産業技術専門学院 訓練課 機械技術科 主任）
「茨城県の産業技術専門学院の現状」
----- 休 憩（5分） -----
- ④大島隆一 氏（（独）国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校 建築学科 講師）
「小山高専サテライト・キャンパスの設置・運営と今後の活動」
- ⑤池田愛彦 氏（（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構 関東職業能力開発大学校 生産技術科 講師）
「若年者ものづくり競技大会を通じた人材育成」～競技職種：フライス盤～
- ⑥矢島康治 氏（神奈川県立産業技術短期大学校 電子技術科 主任）
「技能五輪における競技課題の変遷と人材育成について」～技能五輪全国大会「電子機器組立て」職種において～
- ◆ 討 論： 意見交換
- ◆ 司 会： 菅野金一

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

機械系企画

『特別配慮を要する学生との関わり』

■ 日 時 平成 25 年 8 月 24 日(土) 10:40 ~ 12:00

■ 場 所 関東職業能力開発大学校 視聴覚教室

■ 講演

講演テーマ『特別配慮を要する学生との関わり』

■ 講師 ^{あさの}浅野 ^{みさお}房雄 氏 元つくば国際短期大学教授

臨床心理士 (元茨城県臨床心理士会会長)

茨城県教育・子育て特別相談委員

茨城いのちの電話副理事長 等

【略歴】 1943 年茨城県生まれ

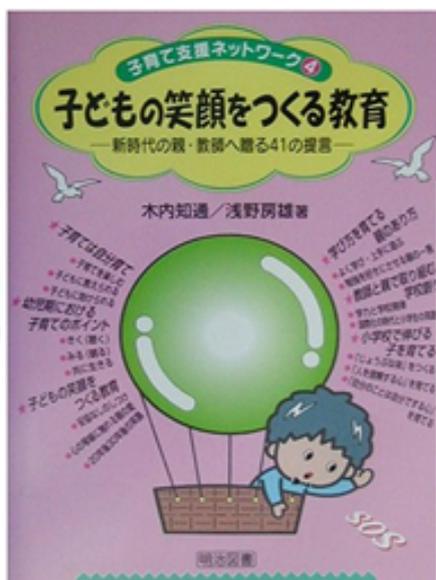
千葉大学文理学部 (心理学専攻) 卒

栃木県精神衛生センター

茨城県児童相談所 (指導課長)

H7 年~H23 つくば国際短期大学教授 (保育科長)

【著書】 保育カウンセリングの理論と実際 2009 年 明治図書
子どもの笑顔をつくる教育 (共著) 2003 年 明治図書
こんなとき親はどうするか (共著) 1998 年 明治図書
学校カウンセリング辞典 金子書房 等



- 新時代の親・教師へ贈る 41 の提言 -

■ 講演概要

今日、複雑化した社会情勢を反映して、心を病む学生が以前にもまして増えています。引きこもりを続けたり、就職意識の欠如とともに無目的に日々の生活を送る学生が目立ち始めてきました。さらには理工系の学生に比較的多いとされるアスペルガー症候の学生が各キャンパスに増えてきている現状もあります。このような特別に配慮の要する学生に対して教員としてどのような対応をし、さらにはどのような教育指導体制を構築していくことが良いのか判断に迷うところが多いのも事実です。今講演ではこの分野での学生教育に造詣の深い浅野先生を特別にお招きし、先生のこれまでの経験の中から最も大切な教員としての対処の仕方、そして普段からの心がけについてお話を拝聴いたします。今後の教育に対して多に示唆を含むご講演です。

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

電気・電子・情報系企画 I 講演

『 オープンソースハードウェアの概念による
誰もが簡単に使える 3G 通信技術の可能性 』

【講演概要】

これまで広域通信技術である 3G 通信を使った応用展開は、通信キャリアや大手企業でしか開発ができなかった。しかし、オープンソースハードウェアによる概念が出てきたことで、誰もが、簡単に、しかも短時間で、安価で、通信技術が利用できるようになり、新たなビジネスや市場への展開が考えられるようになってきた。特に M2M (マシン to マシン) での市場規模は大きなものがあり、環境・エコをはじめ、農業・漁業、防犯・防災、建設・保全、医療・介護、観光・娯楽など、多くの分野での展開が可能となっている。すでに 3G シールドを使った試作やプロトタイプ開発が行われているものを紹介し、新たなムーブメントである第三次産業革命が起きていることを紹介していく。

【日 時】

平成 25 年 8 月 22 日 (木) 15:30~17:00

【場 所】

関東職業能力開発大学校 会場 視聴覚室

【講師プロフィール】

NPO 法人 3G シールドアライアンス 代表理事 高本 孝頼 先生

1956 年熊本県生まれ、1979 年熊本大学工学部卒、1981 年熊本大学工学部大学院卒。専門は、振動工学、建築構造学、構造解析などから、知的 CAD 開発を手掛け、建築 CAD や電気系 CAD、製造系 CAD に従事。1994 年～1999 年頃東京電機大学および青山学院大学などで非常勤講師。1996 年 4 月から 2005 年 3 月まで日本 IAI・技術統合委員長従事 (IAI: 国際的な 3 次元建物モデルの標準化活動団体)。株式会社構造計画研究所、株式会社図研、株式会社武藤工業 (のちムトーエンジニアリング株式会社移籍) に在籍。

2012 年 5 月 1 日に、株式会社タブレインを設立 (代表取締役)、2013 年 3 月 15 日に、NPO 法人 3G シールドアライアンス設立 (代表理事)。一級建築士、工学博士。

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

電気・電子・情報系企画Ⅱ 企業見学

『 株式会社 高岳製作所 』

【生産本部概要】

名称 株式会社高岳製作所 生産本部
〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 1440 番地
(関東能開大より車で 15 分)

HP : <http://www.takaoka.co.jp/>

主な事業内容

送受電用電力変圧器、柱上変圧器、その他各種変圧器
リアクトル、計器用変成器、真空遮断器、断路器、
電力監視制御システム、上下水道等環境システム、
道路管理・鉄道関連システム、エネルギー管理システム、
パワーエレクトロニクス装置、電気自動車用急速充電器 等

【主な見学内容】

- ・太陽光発電システム
- ・自動車用急速充電器
- ・スマートグリッド実証試験設備
- ・その他（電力設備製造現場 等）

【日 程】

平成 25 年 8 月 23 日 (金) 14:00~16:30
(関東職業能力開発大学校本館正面玄関前 13:40 集合)

※見学希望者は、事前に下記の電気・電子・情報系専門部会事務局まで
8/12 までにメールでお申し込みください。

電気・電子・情報系専門部会事務局 佐々木英世
Mail: Hideyo.Sasaki@jeed.or.jp

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

2013 関東大会／建築・デザイン系専門部会企画 I BIM (ビルディング インフォメーション モデリング) を学ぶ

■日 時： 2013年8月23日(金) 14:00~16:30

■会 場： 関東職業能力開発大学校 建築系製図室 (E会場)

主旨

建築をつくる際には、発注者、設計者、施工者間で多くのデータがやり取りされます。

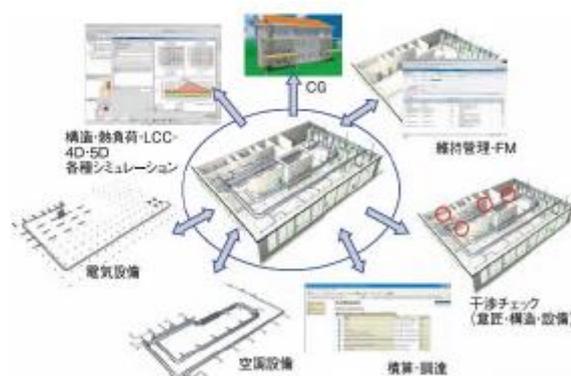
「BIM」は、企画・設計、施工および維持保全までも含めた建築プロジェクトにおけるデータの共有と活用を意識した生産方法です。

国(国土交通省)も、パイロットプロジェクトとして官庁建設工事にBIMを導入するなど、今後の建築生産の手法として一層注目されてきています。

このような背景のもと、本企画は「BIM」とはどのような技術であるかを学ぶことを目的としています。

今回は、建設プロジェクトのデータ共有と活用を推進する国際的な機関であるIAI(International Alliance for Interoperability)の日本法人 (IAI日本) の事務局を担当され、あわせてBIM関連業務に積極的に取り組んでおられるGSA株式会社から講師をお迎えし、BIMの概要と適応事例について、モデルケースも含め解説していただきます。

またソフトウェアのデモンストレーションをもとに、BIMへの理解をさらに深めます。



BIMの概要

(出典：「FC建物データを利用するソフトウェア群」
IAI日本 建設業の国際標準活用動向 V2より)

BIMとは…

BIM (Building Information Modeling) とは、建築物を形状だけでなく、性能・コスト・スケジュールといった様々な属性を含んだオブジェクトの集合体として表現する概念。従来の2次元CADシステムのように図面を作成することを主目的とするのではなく、建築物全体をモデル化することにより、ひとつのモデルから平面図や断面図などの図面・コスト・スケジュールといった情報を、必要なときに取り出せることを意味する。こうした BIM コンセプトの具体化のためのツールとして、3次元CADシステムを活用する。(出典：IAI日本 建設業の国際標準活用動向 V2より)

■企画担当：磯野 重浩 ・ 室野 政博

■(社)実践教育訓練研究協会 建築・デザイン系専門部会

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

2013 関東大会 / 建築・デザイン系専門部会企画Ⅱ

エクスカージョン

☆重要伝統的建造物群保存地区 真壁地区復興・復旧現場見学☆

- ・2013年8月24日(土) 12:00~ ※車中にて各自昼食となります
- ・真壁地区(茨城県桜川市真壁町真壁) 13:00~15:30
<http://www.city.sakuragawa.lg.jp/index.php?code=455>
(桜川市公式HP観光ガイド)
- ・交通 電車の場合はJR水戸線岩瀬駅(タクシー20分)
車は関東能開大より約50分
- ・内容 伝統的建造物の修復現場の見学をまじえ、説明をして頂きます
周辺町並み散策
- ・参加費用 会員は1000円、会員外は2000円(マイクロバス交通費含む)



御陣屋前通りの町並み



下宿町の町並み

真壁地区は、筑波山北麓のたもとで周辺地域の産物が集散する在郷町として発展した。戦国時代を起源とした町割りが今も残り、数多くの古い建築が立ち並び、良好な町並み景観を形成している。

2010年6月、国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定され、観光客誘致の期待が高まる2011年3月11日東日本大震災が発生し、古い建物も被害を受けた。中には完全に倒壊してしまった土蔵、石蔵なども存在するが、現在も復興・復旧作業が続けられている。

写真:文化庁HP <http://www.bunka.go.jp/bunkazai/shoukai/hozonchiku.html>

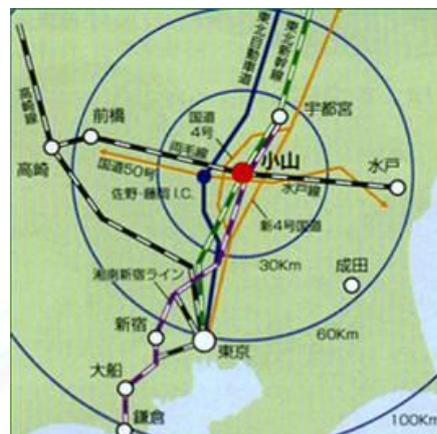
協力:科学技術振興機構(JST)戦略的創造研究推進事業「伝統的建造物群保存地区における総合防災事業の開発(研究代表者:横内基・小山高等)」プロジェクト

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

開催地紹介

2013 実践教育研究発表会関東大会に参加される正会員・賛助会員の皆様に栃木県と小山市をご案内いたします。

北関東の真ん中に位置する「栃木県」は、「日光東照宮」<http://www.toshogu.jp/>や「華厳の滝」、いちごの「とちおとめ」宇都宮の「餃子」では有名ですが、群馬県や茨城県とともに、PR しなくても住みやすい環境から魅力度ランキングでは低位置にいます。しかし、特に栃木県南部に位置する小山市[おやまし]の人口は首都圏に近く、冬でも雪がほとんど降らなくて、「水と緑と大地」の豊かな自然環境のため住みやすく、着実に増加しています。小山市の人口は約 16 万 5 千人で宇都宮市に次ぐ県内第 2 位の自治体です。鉄道では、JR 小山駅があり、東北新幹線、宇都宮線および群馬方面の両毛線、茨城方面の水戸線が交差するターミナル駅となっています。また、高速道路は市内には通っていませんが、国道 4 号線と新国道 4 号線が国道 50 号線と交わり交通の要所となっています。この



ような地理的な条件から、栃木県南部屈指の拠点都市となってきました。小山都市圏の中心でもあり、首都圏へのアクセスが良好なことから工業団地も多数あるなど製造業も盛んな地域となっています。

小山市の特徴としては、地形的には山がなくほとんど平な点があげられます。大きな川としては足尾を源流とする思川があります。思川の堤防には思川桜（小山市の花）が植えられ、春に

は菜の花とともに見事な光景を見せてくれます。思川は渡良瀬川とともに利根川に合流します。その合流付近には有名な「渡良瀬遊水地」があります。昨年 7 月 3 日には、世界のラムサール条約に湿地登録されました。渡良瀬遊水地の北端、小山側の堤防上には、国選定の「富士見百景」もあり、広大な約 3,300ha 全体を一望できるのは勿論、東には筑波山、西に浅間山、南には富士山、北に男体山が眺められます。平らな小山市ですので、富士山が見える所は市内いたるところにあります。写真は小山市間々田から撮影したものです。



栃木県 <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

小山市 <http://www.city.oyama.tochigi.jp/>

日光観光協会 <http://www.nikko-jp.org/index.shtml>

わたらせ遊水地 <http://watarase.or.jp/>

【2013 実践教育研究発表会 関東大会特集】

2013 実践教育研究発表会関東大会 会場案内
 関東職業能力開発大学校

所在地

〒323-0813 栃木県小山市横倉三竹612-1
 電話 0285 (31)1711 FAX 0285 (27)0240

交通手段

□お車をご利用の場合

- ①東北自動車道・国道50号線を利用の場合
 東北自動車道「佐野・藤岡IC」を降り、小山方面へ向かう。約20分、東へ走る。
 小山大橋を渡り、市内に入り、1.5km直進して「小山工業団地南」の信号を左折して左側
- ②新国道4号バイパス線を利用の場合
 宇都宮方面から国道50号線を渡り約2km、信号(「関東能開大」の看板あり)を右折して500m
 東京方面から「横倉」の信号を過ぎ、「関東能開大」の看板の先の信号を左折して500m

□JRをご利用の場合

- JR小山駅下車、東口より
 - ・スクールバスにて20分(料金200円)
 - ・タクシーにて15分(料金1600円)
- ①JR東北新幹線
 - ・東京駅から45分、大宮駅から19分
 - ・宇都宮駅から12分、仙台駅から1時間40分
- ②JR東北本線(愛称:宇都宮線、新宿・上野～黒磯)
 - ・上野駅から1時間05分、新宿駅から1時間30分
 - ・宇都宮駅から22分、黒磯駅から1時間30分
- ③JR両毛線(高崎～小山)
 - ・高崎駅から2時間、桐生駅から1時間
- ④JR水戸線(小山～友部)
 - ・水戸駅から1時間20分

バス運行表

小山駅発	能開大発
お 7:40(8:00)	お 12:22(12:37)
入 8:25	お 16:52(17:07)
お 11:50(12:00)	入 17:25
入 12:00	入 18:25

お:おーバス ス:スクールバス
 ()内は土曜日

小山駅東口「関東能開大スクールバス」乗り場案内

小山駅自由通路(さくら道)を東口方向に進み、エスカレーターを降りると小山駅東口バス乗り場が見えてきます。

おーバス乗り場の隣に、**関東能開大バス乗り場**があります。



【ものづくり体験教室等報告】

サイエンスワークショップで高校生に熱く語った

私は当協会の会員の一人として実践的な教育・訓練および研究を行っています。しかし、その活動を報告する機会は、「実践教育研究発表会」での発表や「実践ジャーナル」「実践ニュース」への投稿だけではなく、日頃の業務や企業や高校などでお話させていただく機会もあります。今回はそのひとつである「サイエンスワークショップ in 柏陽高校」（平成 25 年 6 月 7 日開催）について報告します。

神奈川県立柏陽高校では、1 年生の総合的な学習の時間「科学と文化」で、研究・実験を計画し、四人一組で活動し発表することを目指しています。その中で重要なのが「テーマ」です。そのテーマ探しの一環として、実際に研究・技術開発・教育訓練を行っている一人として講演をさせていただく機会を昨年に続き与えてきました。そこで、制御工学・ロボット工学に興味のある学生へ体験実習（倒立ロボットの運転）を含めた講義を行いました。

「実践的トップダウン設計ーロボット教育ー」というテーマで、これから学ぶ①数学・物理の重要性を伝え、それをおろそかにしてはいけないということ、②自分の目標・ゴールを見極め、実現のためには何をすべきかを逆算し、真剣に考え、集中することを伝えました。また現在は目標・ゴールが決まっていなくても、努力をし続ければ③いつでもスタートすることはでき、決して諦めてはいけない。というようなことを熱く伝えてきました。後日、校長先生からレポートを送っていただき、16 才の彼らにインパクトを与えられたなど実感しています。実は、彼らの文章を読んで逆に感動させられてしまいました。



また、自己紹介の中で職業大の学校案内・オープンキャンパスについて、所属している学会として実践教育訓練研究協会についても話をさせていただきました。

(ポリテクセンター群馬 有田 浩之)

【実践研のホープ】

実践の発表を通して学んだこと



浜松職業能力開発短期大学校
山崎 直哉

この度、実践研のホープということで簡単にはございますが、報告させていただきます。ポリテクカレッジ浜松の山崎と申します。今年度から浜松短大、生産技術科に赴任致しました。実践の発表会では、NC加工に関わる報告を過去4年程させていただいています。これらの経験を通し、また、他の先生方との交流を通して、様々なことを学びさせていただきました。高い技術・技能、多くの知識・経験があるとは言えません。受講生に、「先生」と呼ばれても、決して驕らないようにこれからも業務を行っていきたいと思います。今後ともご指導。ご鞭撻をよろしく願いたします。

編集後記

今回は、2013年夏号として、関東大会特集を掲載しました。特別講演・各系企画を始め、今回は工業教育特別セッションと題しまして地域の特色のある職業教育・人材育成等における教育活動の取り組みを報告する予定です。活発な情報交換・相互研鑽を期待します。また、一般講演も各先生方の研究発表を行います。ものづくりや職業訓練に役立つ内容となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。また、サイエンスワークショップの開催報告を掲載致しました。高校生に対するものづくり啓発活動は、重要であると考えますので、各短大・大学校等での活動内容がありましたらご寄稿をお願いします。今回で3回目を迎える「実践研のホープ」では、浜松短大の山崎先生に掲載していただきました。

次号は、2013 実践教育研究発表会 関東大会開催報告を中心に掲載予定です。

WEB ニュース編集事務局では、皆様からの各地の取り組みに関する情報をお待ちしております。記事半ページ程度、写真2枚程度を添付していただき、以下のメールアドレスへ直接、もしくは編集事務局まで封書にてお送りください。また、こちらからも記事のご寄稿をお願いする場合があります。ご協力をお願いします。

勤務先、メールアドレスが変更された場合には、実践教育訓練研究協会事務局までメールまたは FAXにてお知らせください。



発行責任者：久保 紘
発行：(社)実践教育訓練研究協会事務局
〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-36-203
TEL 042-300-1651 FAX 042-300-1652
<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@nifty.com

編集責任者：刈部 貴文
編集事務局：京都職業能力開発短期大学校
〒624-0912 京都府舞鶴市上安 1922
TEL 0773-75-7632
<http://www.jissen.or.jp/> E-mail: jissen@nifty.com

広報委員会 Web Jissen News 編集部門：小坂 大吾・鳥谷部 太・永野 秀浩・刈部 貴文
広報委員会 Home Page 編集部門：安井 雄祐・水渡 博幸・新島 泰宏・太田 隆博
広報委員会 委員長：有田浩之
発行・編集：(社) 実践教育訓練研究協会 広報委員会
JISSEN NEWS 2013 夏(No.180)
